

エマルジョン製品への難燃性付与について

● 難燃剤の種類

1) 有機系難燃剤

① 含ハロゲン有機化合物系

- ・臭素化合物
- ・塩素化合物

② リン化合物 …… リン酸エステル、ポリリン酸アンモニウム etc.

高い難燃効果を持つものの、種類によっては加工性や物性への影響、環境規制の問題や価格が高い等といったデメリットもある。

2) 無機系難燃剤

- ・アンチモン化合物 …… 三酸化アンチモン etc.
- ・金属水酸化物 …… 水酸化アルミニウム etc.
- ・ホウ素化合物 …… ホウ酸ナトリウム etc.
- ・メラミン系 …… メラミンシアヌレート etc.

Sb_2O_3 は安衛法の特化物として規制対象に。



スミカフレックス製品の難燃性について

スミカフレックス製品の中でも塩化ビニルを共重合したエマルジョンには、以下のような様々な特長がある。

塩化ビニルモノマー由来の特長

- 1) 硬くて高強度の皮膜を形成する
- 2) 耐水性が高い
- 3) **難燃性が高い**
⇒ **難燃剤の使用量を減らせる**

・塩化ビニル共重合系：スミカフレックス800系 スミエリート

繊維・フィルターのバインダーや自動車用のカーペット・マット用のバックング剤等の用途に多くご使用いただいております。

塩化ビニルを共重合することにより樹脂自体に高い耐水性や難燃性を付与できる特長を有しています。

塩ビ系樹脂と
五酸化アンチモンの併用によって、
難燃性に相乗効果があります！



	LOI (%)
S-752	19.7
S-830	23.2
S-850HQ	23.7
SE-1010	24.6
SE-1320	30.3
SBR	17.8
St-Acryl	18.1
Acryl	17.5